

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
マロニエファッションデザイン専門学校	昭和 51年4月1日	若杉 豊	〒531-0041 大阪市北区天神橋7-7-4 (電話) 06-6358-0222		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人マロニエ文化学園	昭和 26年3月1日	理事長 野中 翠	〒531-0041 大阪市北区天神橋7-7-4 (電話) 06-6358-0222		
目 的	本校は教育基本法及び学校基本法の趣旨に基づき、ファッションの専門的技術を教授するため、 アパレル産業教育を中心とし、すぐれた技術と教養を持った人材を育成することを目的とする				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾専門課程	ファッションマ スター学科	4年 (昼)	3480 単位時間 (又は単位)	—	平成十八年文部科 学省告示第八十七 号
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	786 単位時間 (又は単位)	154 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	2660 単位時間 (又は単位)
生徒総定員		生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人		12 人	7 人	11 人	18 人
学期制度	■前期： 4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 5段階評価で、成績評価、出席評価、 総合評価を各科目ごとに成績をだす	
長期休み	■学年始め：4月9日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月15日		卒業・進級条件	年次ごとの授業時間数を900時間 (30単位)とし、870時間(29単位) 以上の履修と課題提出が卒業・進級 認定の条件	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 連絡を必ず取り、欠席理由や状況を聞く		課外活動	■課外活動の種類 1ヶ月に一度、学校1km周辺のゴミ拾い ■サークル活動 (有・無)	
主な就職先	■主な就職先、業界 (株)アルエスエー (株)三陽商会 (株)玉屋 (株)ハニーズ (株)ファイブフォックス (株)ロートレ・アモン (株)ワルト ■就職率 100%		主な資格・検定	洋裁技術検定 ファッションビジネス能力検定 ファッション販売能力検定 ファッション色彩能 力検定 パターンメイキング技術検定 色彩検 定	

中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 16% 平成23年 4月 1日在学者 6名（平成23年4月入学者を含む） 平成24年 3月31日在学者 5名（平成24年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、または家庭の事情によるため。 ■中退防止のための取組 日々の学生の様子に変化があった場合は、担任が声をかけ相談しやすい環境をつくっている。
ホームページ	URL: http://www.maronie.ac.jp

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 25 年 10 月末日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 学校長
榊谷 武志	有限会社 エムズ 代表取締役
長川 勝男	一般社団法人インターナショナルアーティスト支援協会 理事長
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役

(開催日時)

第1回 平成 25 年 10 月 7 日 15 : 00 ~ 18 : 00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、調達物流、在庫管理、販売の一連の流れを、体系的に習得する」ということを教育課程編成の基本方針に基づき、企業と連携した実習をおこなっている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社フェリシモ
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社遊心クリエイション
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	夢展望株式会社
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社やわらぎ

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、調達物流、在庫管理、販売の一連の流れを、体系的に習得する」ということを教育課程編成の基本方針、デザイン、ビジネスという各々教員の専門領域を超えた連携ができることを目的として、連携している企業の委員の協力を得て、研修を実施している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 25 年 10 月末日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 学校長
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役
大田口 宏	大雪法律事務所 弁護士
河井 俊幸	コンフォート税理士事務所 代表社員 税理士
長川 勝男	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長
山口 俊介	有限会社 かほり堂 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法) ホームページによる公開

URL: <http://www.maronie.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法) ホームページによる公開

URL: <http://www.maronie.ac.jp/>

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションマスター学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			デザイン学	デザインとは何か。デザインの基本的な知識。デザインに関わる、造形、素材、紡績について。	1 2 通	60	2	○		
○			服飾理論	ファッション産業から人々の生活全体にまで広がりを持つアパレルに関する分野や、これに携わる専門的な知識などを習得する。洋裁、用尺、用具、針と糸、接着芯についてなど。	1 2 通	15	0.5	○		
○			造形学	造形の歴史、造形の基本のラインを知る。抽象と具象について。音楽を聴いて創造力を高める。紙、粘土、木を使って立体構成を考え作る。	1 通	30	1	△		○
○			商品知識	アイテムの知識、素材、柄の知識、副資材の知識、サイズの知識を学ぶ。	1 通	15	0.5	△	○	
○			企画	新商品の開発から販売促進までかわるマーケティングの仕事の内容を把握しオリジナルブランドの企画提案。	2 通	22.5	0.75	△		○
○			色彩学	色名、色相環、色彩の感情効果、PCCS(日本色彩配色体系)、配色、多配色、混色。パーソナルカラーの基礎、診断方法、マップ作成を学び、実践に生かせるテクニックを習得。	1 2 3 通	75	2.5	○	△	
○			服装史	背広のルーツ、18 世紀貴族服から 19 世紀市民服へ。西洋人と日本の服装。女子服の実用化、20 世紀後半。	1 通	15	0.5	○		
○			テキスタイル	商品の品質表示について。綿、麻、毛、獣毛、絹、合繊繊維、再生繊維、皮革、毛皮等の素材の種類と特徴。織物と編物の違い。三原組織。	1 2 3 通	45	1.5	○		△
○			生産管理 B	アパレル商品の生産現場について、資材・機械・原価・工程管理・品質管理・生産・加工・クレーム、納期計画についても理解しより良い商品作りを目指す。	3 通	3	0.1	○		

○			就職指導	就職活動の心構え。説明会の参加方法とマナー。アポイントの取り方。自己分析の方法と実践。履歴書と自己PRの書き方。手紙の書き方。面接練習。ポートフォリオの作り方と製作。	3 4 通	45	1.5	△	○	
○			特別講義	コレクション情報やファッションカラーの講義など、映像と説明により、最新のトレンド情報とこれからの流行しそうな色を習得する機会となる。	1 2 3 4 通	60	2	○		
○			学校行事	ファッションやデザインに関わるようなテーマにそった美術館、展覧会、先輩達が勤務しているアパレル企業の展示会を見学しに行く。	1 2 3 4 通	240	8			○
○			アパレルデザイン	企画組立ての流れを知り、クライアントのブランドコンセプトとトレンド情報を理解し、オリジナルデザインを展開する。素材の特徴を生かしたデザイン技術の習得。	1 2 3 4 通	177	5.9	△		○
○			アパレル造形	イコリティ・リピート・グラデーション・アシンメトリー・アンバランス・義対称・シュパング等の観念を知りデザインに取り入れる。	1 2 3 4 通	30	1	○		
○			商品リサーチ	商品アイテムのサーチをし、商品のディテールや、縫製方法、デザインタッチなど商品作りにかかせない要素を見るのがポイント。洗濯表示、素材表示を確認し、市場のトレンド傾向も学ぶ。	1 2 通	90	3	△		○
○			イラスト	基本のボディー演習からポージングまでのボディーを描けるようにする。さらに、繊細な素材表現、ディテール表現のテクニック、様々な画材道具を使ってのテクニックを習得する。	1 2 3 通	180	6	△		○
○			ニット	ニットの基礎知識。家庭機から工業機の編み機の基礎知識を習得する。また、デザインイメージをニット製品に表現する能力を高める。	2 3 4 通	25.5	0.85	△		○
○			パターン・ドレーピング	人体を知り、着心地の良い企業で対応できるパターン作成方法を習得。ドレーピングは立体裁断の基礎からジャケットまでの身体の動きを考えた立体的な服作りを習得する。	1 2 3 通	375	12.5	△		○
○			フラットパターン	平面製図。スカート、ブラウス、ジャケット、ビズチェ、変わり袖などを4分の1縮尺で製図する。それを原寸でひく事もある。	1 2 通	109.5	3.65	△	○	

○			縫製講義	生地によっての特性を知り、その注意すべき縫製方法を習得する。	1 前	3	0.1	○		
○			部分縫い	ポケットの種類、袖口の明きの種類など、部分的な縫製練習をする。	1 2 通	102	3.4			○
○			オートクチュール縫製	オリジナルデザイン作品縫製を通して、高級仕立てのテクニックの習得とクリエイティブな感性を育てる素材の特性を行かした縫製技術を取得する。	2 3 通	87	2.9	△		○
○			プロダクト縫製	市場向け用の製品作りのための縫製方法。パターンに一定の縫い代を付け、それと同様に生地を裁断した物を、縫い代の端をたよりに縫製する。	2 3 通	18	0.6	△		○
○			ミシン講習	ミシンの使用方法、ミシン針の種類について学ぶ。工業用ミシン、4本ロックミシン、特殊ミシン(釦ホル機、はと目機械)などは、実践してみる。特殊素材について縫い方のアドバイスも習得。	1 前	12	0.4	△		○
○			生産管理 A	アパレル商品の生産現場について、資材・機械・原価・工程管理・品質管理・生産・加工・クレーム、納期計画についても理解し、より良い商品作りを目指す。	2 3 通	52.5	1.75	○		
○			手芸	刺繍、レースの作り方、かぎ針基本テクニックを学び、素材作りに生かす。	1 2 3 4 通	67.5	2.25	△		○
○			IT(デザイン)	フォトショップ、イラストレーター、アルファギアの操作方法を習得。アルファギアを使用して連続柄を作成する。イラストレーターを使用して企画 Book の作成をする。	1 2 3 通	67.5	2.25	△		○
○			パターン検定対策	パターン検定3級、2級の筆記、実技試験対策ををする。時間内にパターン、トワル組をする事で作業の速さを身につける。	2 3 前	90	3	△		○
○			店舗リサーチ	数ヶ月間、1店舗を詳しくリサーチすることによって、トレンド動向やブランドのショップコンセプト、店全体の商品企画、MD構成を理解できるようにする。	3 通	30	1	△		○
○			品質管理・クレーム	素材学で長所と短所の知識を学び、ロールプレイングをしてクレームのお客様への対応を学ぶ。	3 前	4.5	0.15	○		△

○		F ビジネス 検定対策	ファッションビジネス能力検定 3 級対策。理解しにくいと思われるところを解説し、問題を解く。	1 後	15	0.5	△	○	
○		制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	1 2 3 4 通	627	20.9	△		○
○		プロダクト 縫製実習	スカート、ブラウス、パンツ、ジャケットを縫製する。	2 3 通	256.5	8.55			○
○		学園祭実習	文化祭に向けて、ファッションショーの衣装を製作したり、展示物の製作をする。	1 2 3 4 通	165	5.5			○
○		卒業展製作 実習	卒業ファッションショーの衣装製作。自分でデザイン画を描き、そのパターンをひき縫製をする。時には、素材作り、生地を染めたりもする。	4 後	150	5			○
○		自由研究実 習	休暇中に自分でテーマをみつけ、そのテーマにそった作品等を制作する。例えば、IT を使って企画書から考え、それを実際に服にしていくなど。	1 2 3 4 通	240	8			○
合計			36 科目	3600 単位時間 (	120 単位)				

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
マロニエファッションデザイン専門学校	昭和51年4月1日	若杉 豊	〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 マロニエ文化学園	昭和26年3月1日	理事長 野中 翠	〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222			
目 的	本校は教育基本法及び学校基本法の趣旨に基づき、ファッションの専門的技術を楽しむ為アパレル産業を中心とし、すぐれた技術と教養を持った人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	服飾専門課程	ファッションクリエイション学科オートクチュールデザインコース	3年(昼)	2610 単位時間 (又は単位)	平成七年文部科学省告示第七号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	589 単位時間 (又は単位)	115 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1996 単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
45 人	27 人	7 人	11 人	18 人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表(有・無) ■成績評価の基準・方法について 5段階評価で、成績評価、出席評価、総合評価を各科目ごとに成績をだす	
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月15日			卒業・進級条件	年次ごとの授業時間数を900時間(30単位)とし、870時間(29単位)以上の履修と課題提出が卒業・進級認定の条件	
生徒指導	■クラス担任制(有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 連絡を必ず取り、欠席理由や状況を聞く			課外活動	■課外活動の種類 1ヶ月に一度、学校1km周辺のゴミ拾い ■サークル活動(有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率※1 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 100% ■その他(任意) (平成25年度卒業者にに関する平成26年5月時点の情報)			主な資格・検定	洋裁技術検定 ファッションビジネス能力検定 ファッション販売能力検定 ファッション色彩能力検定 パターンキング 技術検定 色彩検定	

中途退学の現状	■中途退学者 2 名 ■中退率 10 % 平成 25 年 4 月 1 日在学者 20 名（平成 25 年 4 月入学者を含む） 平成 26 年 3 月 31 日在学者 18 名（平成 26 年 3 月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、または家庭の事情によるため。 ■中退防止のための取組 日々の学生の様子に変化があった場合は、担任が声をかけ相談しやすい環境をつくっている。
ホームページ	URL: http://www.maronie.ac.jp/

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企画実施力に関する実践的な授業を行うため、生徒の実習受け入れ実績がある企業および施設を選定している。また、実習の実施にあたり、生徒に対して指導者として担当する体制が可能な企業および施設を選定している。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 校長
長川 勝男	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長 新日本新事業支援機関協議会 シニア IM
榊谷 武志	有限会社 エムズ 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役

(開催日時)

第1回 平成25年9月17日 13:00～14:00

第2回 平成26年2月15日 13:00～14:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、調達物流、在庫管理、販売の一連の流れを、体系的に習得する」ということを教育課程編成の基本方針に基づき、企業と連携した実習をおこなっている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社フェリシモか
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社 M.C. Innovation
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社 バハラナ
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社 NFL

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

日本のアパレル業界は、自前で生産から販売までを手掛け、消費者のニーズに合った商品を短期かつ低価格に供給するビジネスモデル(SPA)が成長を遂げている。その一方でブライダル産業や舞台衣装といった特殊な産業も人材ニーズが高く、企業も少なくない。そのため、企業に必要とされる人材も企画デザインから販売までの総合的な知識をもち、なお且つ手仕事でしか制作できない一点ものの衣装制作ができる人材の育成が必要となっている。これら状況を踏まえ、「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、刺繍や特殊技法を体系的に習得する」ということを基本方針として、企業との連携し、教育課程を編成する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 学校長
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役
大田口 宏	大雪法律事務所 弁護士
河井 俊幸	コンフォート税理士事務所 代表社員 税理士
長川 勝勇	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長
山口 俊介	有限会社 かほり堂 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションクリエイション学科オートクチュールデザインコース) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			デザイン学	デザインとは何か。デザインの基本的な知識。デザインに関わる、造形、素材、紡績について。	1 2 通	60	2	○		
○			服飾理論	ファッション産業から人々の生活全体にまで広がりを持つアパレルに関する分野や、これに携わる専門的な知識などを習得する。洋裁、用尺、用具、針と糸、接着芯についてなど。	2 通	15	0.5	○		
○			造形学	造形の歴史、造形の基本のラインを知る。抽象と具象について。音楽を聴いて創造力を高める。紙、粘土、木を使って立体構成を考え作る。	1 通	30	1	△		○
○			商品知識	アイテムの知識、素材、柄の知識、副資材の知識、サイズの知識を学ぶ。	1 前	9	0.3	△	○	
○			企画	新商品の開発から販売促進までかわるマーケティングの仕事の内容を把握しオリジナルブランドの企画提案。	2 通	22.5	0.75	△		○
○			色彩学	色名、色相環、色彩の感情効果、PCCS(日本色彩配色体系)、配色、多配色、混色。パーソナルカラーの基礎、診断方法、マップ作成を学び、実践に生かせるテクニックを習得。	1 2 3 通	75	2.5	○	△	
○			服装史	背広のルーツ、18 世紀貴族服から 19 世紀市民服へ。西洋人と日本の服装。女子服の実用化、20 世紀後半。	1 通	15	0.5	○		
○			テキスタイル	商品の品質表示について。綿、麻、毛、獣毛、絹、合繊繊維、再生繊維、皮革、毛皮等の素材の種類と特徴。織物と編物の違い。三原組織。	1 2 3 通	45	1.5	○		△
○			生産管理	アパレル商品の生産現場について、資材・機械・原価・工程管理・品質管理・生産・加工・クレーム、納期計画についても理解し、より良い商品作りを目指す。	3 前	3	0.1	○		

○		就職指導	就職活動の心構え。説明会の参加方法とマナー。アポイントの取り方。自己分析の方法と実践。履歴書と自己 PR の書き方。手紙の書き方。面接練習。ポートフォリオの作り方と製作。	3 通	30	1	△	○	
○		特別講義	コレクション情報やファッションカラー講義など、映像と説明により、最新のトレンド情報とこれからの流行しそうな色を習得する機会となる。	1 2 3 通	45	1.5	○		
○		学校行事	ファッションやデザインに関わるようなテーマにそった美術館、展覧会、先輩達が勤務しているアパレル企業の展示会を見学しに行く。	1 2 3 通	180	6			○
○		アパレルデザイン	企画組立ての流れを知り、クライアントのブランドコンセプトとトレンド情報を理解し、オリジナルデザインを展開する。素材の特徴を生かしたデザイン技術の習得。	1 2 3 通	132	4.4	△		○
○		アパレル造形	イコリーティ・リピート・グラデーション・アシンメトリー・アンバランス・義対称・シュパミング等の観念を知りデザインに取り入れる。	2 通	30	1	○		
○		商品リサーチ	商品アイテムのリサーチをし、商品のディテールや、縫製方法、デザインスケッチなど商品作りにかかせない要素を見るのがポイント。洗濯表示、素材表示を確認し、市場のトレンド傾向も学ぶ。	1 2 通	90	3	△		○
○		イラスト	基本のボディー演習からポージングまでのボディーを描けるようにする。さらに、繊細な素材表現、ディテール表現のテクニック、様々な画材道具を使つてのテクニックを習得する。	1 2 3 通	180	6	△		○
○		ニット	ニットの基礎知識。家庭機から工業機の編み機の基礎知識を習得する。また、デザインイメージをニット製品に表現する能力を高める。	2 3 通	7.5	0.25	△		○
○		パターン・ドレーピング	人体を知り、着心地の良い企業で対応できるパターン作成方法を習得。ドレーピングは立体裁断の基礎からジャケットまでの身体の動きを考えた立体的な服作りを習得する。	1 2 3 通	270	9	△		○
○		フラットパターン	平面製図。スカート、ブラウス、ジャケット、ビズチェ、変わり袖などを4分の1縮尺で製図する。それを原寸でひく事もある。	1 2 通	109.5	3.65	△	○	
○		縫製講義	生地よつての特性を知り、その注意すべき縫製方法を習得する。	1 前	3	0.1	○		

○			部分縫い	ポケットの種類、袖口の明きの種類など、部分的な縫製練習をする。	1 2 通	102	3.4			○
○			オートクチュール縫製	オリジナルデザイン作品縫製を通して、高級仕立てのテクニックの習得とクリエイティブな感性を育てる素材の特性を行かした縫製技術を取得する。	2 3 通	87	2.9	△		○
○			プロダクト縫製	市場向け用の製品作りのための縫製方法。パターンに一定の縫い代を付け、それと同様に生地を裁断した物を、縫い代の端をたよりに縫製する。	2 3 通	18	0.6	△		○
○			ミシン講習	ミシンの使用方法、ミシン針の種類について学ぶ。工業用ミシン、4本ロックミシン、特殊ミシン(釦ホール機、はと目機械)などは、実践してみる。特殊素材について縫い方のアドバイスも習得。	1 2 3 前	12	0.4	△		○
○			手芸	刺繍、レースの作り方、かぎ針基本テクニックを学び、素材作りに生かす。	1 2 3 通	60	2	△		○
○			IT(デザイン)	フォトショップ、イラストレーター、アルファギアの操作方法を習得。アルファギアを使用して連続柄を作成する。イラストレーターを使用して企画ブックの作成をする。	1 2 3 通	67.5	2.25	△		○
○			パターン検定対策	パターン検定3級、2級の筆記、実技試験対策ををする。時間内にパターン、トワル組をする事で作業の速さを身につける。	2 3 前	90	3	△		○
○			VMD	ディスプレイの基礎知識とその重要性を把握する。	3 前	7.5	0.25	○		△
○			店舗リサーチ	数ヶ月間、1店舗を詳しくリサーチすることによって、トレンド動向やブランドのショッピングコンセプト、店全体の商品企画、MD構成を理解できるようにする。	3 通	30	1	△		○
○			品質管理・クレーム	素材学で長所と短所の知識を学び、ロールプレイングをしてクレームのお客様への対応を学ぶ。	3 前	4.5	0.15	○		△
○			IT(ビジネス)	マイクロソフトOfficeの文章作成・表計算の修得。他、ビジネス上に必要なメール・インターネット関連とプレゼンテーション方法を習得。	2 3 通	30	1	△		○
○			Fビジネス検定対策	ファッションビジネス能力検定3級対策。理解しにくいと思われるところを解説し、問題を解く。	1 後	15	0.5	△	○	

○			制作実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	1 2 通	208.5	6.95	△		○
○			プロダクト縫製実習	スカート、ブラウス、パンツ、ジャケットを縫製する。	2 3 通	181.5	6.05			○
○			学園祭実習	文化祭に向けて、ファッションショーの衣装を製作したり、展示物の製作をする。	1 2 3 前	105	3.5			○
○			卒業展製作実習	卒業ファッションショーの衣装製作。自分でデザイン画を描き、そのパターンをひき縫製をする。時には、素材作り、生地を染めたりもする。	3 後	150	5			○
○			自由研究実習	休暇中に自分でテーマをみつけ、そのテーマにそった作品等を制作する。例えば、IT を使って企画書から考え、それを実際に服にしていくなど。	1 2 3 通	180	6			○
合計				37 科目	2700 単位時間 (90 単位)					

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地	
マロニエファッションデザイン専門学校		昭和51年4月1日		若杉 豊		〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222	
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 マロニエ文化学園		昭和26年3月1日		理事長 野中 翠		〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222	
目 的		本校は教育基本法及び学校基本法の趣旨に基づき、ファッションの専門的技術を楽しむ為アパレル産業を中心とし、すぐれた技術と教養を持った人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
服飾家政	服飾専門課程	ファッションクリエイション学科アパレルデザインコース	3年(昼)	2610 単位時間 (又は単位)	平成七年文部科学省告示第七号	—	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		589 単位時間 (又は単位)	115 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1996 単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	
45 人		28 人		7 人		11 人	
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価		■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 5段階評価で、成績評価、出席評価、総合評価を各科目ごとに成績をだす	
長期休み		■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月15日		卒業・進級条件		年次ごとの授業時間数を900時間(30単位)とし、870時間(29単位)以上の履修と課題提出が卒業・進級認定の条件	
生徒指導		■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 連絡を必ず取り、欠席理由や状況を聞く		課外活動		■課外活動の種類 1ヶ月に一度、学校1km周辺のゴミ拾い ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況		■主な就職先、業界等 ■就職率※ ¹ 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※ ² 100% ■その他(任意) (平成25年度卒業者にに関する平成26年5月時点の情報)		主な資格・検定		洋裁技術検定 ファッションビジネス能力検定 ファッション販売能力検定 ファッション色彩能力検定 パターンキング技術検定 色彩検定	

中途退学の現状	■中途退学者 2 名 ■中退率 8 % 平成 25 年 4 月 1 日在学者 24 名（平成 25 年 4 月入学者を含む） 平成 26 年 3 月 31 日在学者 22 名（平成 26 年 3 月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、または家庭の事情によるため。 ■中退防止のための取組 日々の学生の様子に変化があった場合は、担任が声をかけ相談しやすい環境をつくっている。
ホームページ	URL: http://www.maronie.ac.jp/

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

企画実施力に関する実践的な授業を行うため、生徒の実習受け入れ実績がある企業および施設を選定している。また、実習の実施にあたり、生徒に対して指導者として担当する体制が可能な企業および施設を選定している。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 校長
長川 勝男	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長 新日本新事業支援機関協議会 シニア IM
西野 拓哉	株式会社ロングス 代表取締役
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
梶谷 武志	有限会社 エムズ 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役

（開催日時）

第1回 平成25年9月17日 14:00～15:00

第2回 平成26年2月15日 15:00～16:30

2. 主な実習・演習等

（実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針）

「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、調達物流、在庫管理、販売の一連の流れを、体系的に習得する」ということを教育課程編成の基本方針に基づき、企業と連携した実習をおこなっている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社フェリシモ
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社 M.C. Innovation
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社 バハラナ

3. 教員の研修等

（教員の研修等の基本方針）

日本のアパレル業界は、自前で生産から販売までを手掛け、消費者のニーズに合った商品を短期かつ低価格に供給するビジネスモデル（SPA）が成長を遂げている。その一方でブライダル産業や舞台衣装といった特殊な産業も人材ニーズが高く、企業も少なくない。そのため、企業に必要とされる人材も企画デザインから販売までの総合的な知識をもち、なお且つ手仕事でしか制作できない一点ものの衣装制作ができる人材の育成が必要となっている。これら状況を踏まえ、「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、刺繍や特殊技法を体系的に習得する」ということを基本方針として、企業との連携し、教育課程を編成する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 学校長
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役
大田口 宏	大雪法律事務所 弁護士
河井 俊幸	コンフォート税理士事務所 代表社員 税理士
長川 勝勇	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長
山口 俊介	有限会社 かほり堂 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

授業科目等の概要

(〇〇専門課程〇〇学科) 平成〇〇年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			デザイン学	デザインとは何か。デザインの基本的な知識。デザインに関わる、造形、素材、紡績について。	1 2 通	60	2	○		
○			服飾理論	ファッション産業から人々の生活全体にまで広がりを持つアパレルに関する分野や、これに携わる専門的な知識などを習得する。洋裁、用尺、用具、針と糸、接着芯についてなど。	2 通	15	0.5	○		
○			造形学	造形の歴史、造形の基本のラインを知る。抽象と具象について。音楽を聴いて創造力を高める。紙、粘土、木を使って立体構成を考え作る。	1 通	30	1	△		○
○			商品知識	アイテムの知識、素材、柄の知識、副資材の知識、サイズの知識を学ぶ。	1 前	9	0.3	△	○	
○			企画	新商品の開発から販売促進までかかるマーチャンダイザーの仕事の内容を把握しオリジナルブランドの企画提案。	2 通	22.5	0.75	△		○
○			色彩学	色名、色相環、色彩の感情効果、PCCS(日本色彩配色体系)、配色、多配色、混色。パーソナルカラーの基礎、診断方法、マップ作成を学び、実践に生かせるテクニックを習得。	1 2 3 通	75	2.5	○	△	
○			服装史	背広のルーツ、18世紀貴族服から19世紀市民服へ。西洋人と日本の服装。女子服の実用化、20世紀後半。	1 通	15	0.5	○		
○			テキスタイル	商品の品質表示について。綿、麻、毛、獣毛、絹、合繊繊維、再生繊維、皮革、毛皮等の素材の種類と特徴。織物と編物の違い。三原組織。	1 2 3 通	45	1.5	○		△
○			生産管理A	アパレル商品の生産現場について、資材・機械・原価・工程管理・品質管理・生産・加工・クレーム、納期計画についても理解し、より良い商品作りを目指す。	3 前	3	0.1	○		

○			就職指導	就職活動の心構え。説明会の参加方法とマナー。アポイントの取り方。自己分析の方法と実践。履歴書と自己 PR の書き方。手紙の書き方。面接練習。ポートフォリオの作り方と製作。	3 通	30	1	△	○	
○			特別講義	コレクション情報やファッションカラー講義など、映像と説明により、最新のトレンド情報とこれからの流行しそうな色を習得する機会となる。	1 2 3 通	45	1.5	○		
○			学校行事	ファッションやデザインに関わるようなテーマにそった美術館、展覧会、先輩達が勤務しているアパレル企業の展示会を見学しに行く。	1 2 3 通	180	6			○
○			アパレルデザイン	企画組立ての流れを知り、クライアントのブランドコンセプトとトレンド情報を理解し、オリジナルデザインを展開する。素材の特徴を生かしたデザイン技術の習得。	1 2 3 通	132	4.4	△		○
○			アパレル造形	イコリーティ・リピート・グラデーション・アシンメトリー・アンバランス・義対称・シュパミング等の観念を知りデザインに取り入れる。	2 通	30	1	○		
○			商品リサーチ	商品アイテムのリサーチをし、商品のディテールや、縫製方法、デザインスケッチなど商品作りにかかせない要素を見るのがポイント。洗濯表示、素材表示を確認し、市場のトレンド傾向も学ぶ。	1 2 通	90	3	△		○
○			イラスト	基本のボディー演習からポージングまでのボディーを描けるようにする。さらに、繊細な素材表現、ディテール表現のテクニック、様々な画材道具を使つてのテクニックを習得する。	1 2 3 通	180	6	△		○
○			ニット	ニットの基礎知識。家庭機から工業機の編み機の基礎知識を習得する。また、デザインイメージをニット製品に表現する能力を高める。	2 3 通	7.5	0.25	△		○
○			パターン・ドレーピング	人体を知り、着心地の良い企業で対応できるパターン作成方法を習得。ドレーピングは立体裁断の基礎からジャケットまでの身体の動きを考えた立体的な服作りを習得する。	1 2 3 通	270	9	△		○
○			フラットパターン	平面製図。スカート、ブラウス、ジャケット、ビズチェ、変わり袖などを4分の1縮尺で製図する。それを原寸でひく事もある。	1 2 通	109.5	3.65	△	○	
○			縫製講義	生地によっての特性を知り、その注意すべき縫製方法を習得する。	1 前	3	0.1	○		

○			部分縫い	ポケットの種類、袖口の明きの種類など、部分的な縫製練習をする。	1 2 通	102	3.4			○
○			プロダクト縫製	市場向け用の製品作りのための縫製方法。パターンに一定の縫い代を付け、それと同様に生地を裁断した物を、縫い代の端をたよりに縫製する。	2 3 通	30	1	△		○
○			アパレルテクニック	工場内での完成品の流れを捉え、材料・部品・加工法と工程経路などを分析し、縫製仕様書を作成する。	2 3 通	12	0.4	△		○
○			ミシン講習	ミシンの使用方法、ミシン針の種類について学ぶ。工業用ミシン、4本ロックミシン、特殊ミシン(釦ホール機、はと目機械)などは、実践してみる。特殊素材について縫い方のアドバイスも習得。	1 2 3 前	12	0.4	△		○
○			生産管理B	アパレル商品の生産現場について、発注と原価の詳細設計、国内海外の生産ラインの管理を理解し、高品質の商品作りを目指す。	2 3 通	45	1.5	○		
○			手芸	刺繍、レースの作り方、かぎ針基本テクニックを学び、素材作りに生かす。	1 後	15	0.5	△		○
○			IT(デザイン)	フォトショップ、イラストレーター、アルファギアの操作方法を習得。アルファギアを使用して連続柄を作成する。イラストレーターを使用して企画ブックの作成をする。	1 2 3 通	67.5	2.25	△		○
○			パターン検定対策	パターン検定3級、2級の筆記、実技試験対策をする。時間内にパターン、トワル組をする事で作業の速さを身につける。	2 3 前	90	3	△		○
○			VMD	ディスプレイの基礎知識とその重要性を把握する。	3 前	7.5	0.25	○		△
○			店舗リサーチ	数ヶ月間、1店舗を詳しくリサーチすることによって、トレンド動向やブランドのショッピングコンセプト、店全体の商品企画、MD構成を理解できるようにする。	3 通	30	1	△		○
○			品質管理・クレーム	素材学で長所と短所の知識を学び、ロールプレイングをしてクレームのお客様への対応を学ぶ。	3 前	4.5	0.15	○		△
○			IT(ビジネス)	マイクロソフトOfficeの文章作成・表計算の修得。他、ビジネス上に必要なメール・インターネット関連とプレゼンテーション方法を習得。	2 3 通	30	1	△		○

○		F ビジネス 検定対策	ファッションビジネス能力検定 3 級対策。理解しにくいと思われるところを解説し、問題を解く。	1 後	15	0.5	△	○	
○		制作実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	1 2 通	190.5	6.35	△		○
○		プロダクト 縫製実習	スカート、ブラウス、パンツ、ジャケットを縫製する。	2 3 通	256.5	8.55			○
○		学園祭実習	文化祭に向けて、ファッションショーの衣装を製作したり、展示物の製作をする。	1 2 3 前	105	3.5			○
○		卒業展製作 実習	卒業ファッションショーの衣装製作。自分でデザイン画を描き、そのパターンをひき縫製をする。時には、素材作り、生地を染めたりもする。	3 後	150	5			○
○		自由研究実 習	休暇中に自分でテーマをみつけ、そのテーマにそった作品等を制作する。例えば、IT を使って企画書から考え、それを実際に服にしていくなど。	1 2 3 通	180	6			○
合計			38 科目	2700 単位時間 (90 単位)					

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
マロニエファッションデザイン専門学校	昭和51年4月1日	若杉 豊	〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 マロニエ文化学園	昭和26年3月1日	理事長 野中 翠	〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222			
目 的	本校は教育基本法及び学校基本法の趣旨に基づき、ファッションの専門的技術を楽しむ為アパレル産業を中心とし、すぐれた技術と教養を持った人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	服飾専門課程	ファッションクリエイション学科 クリエイティブキャリアコース	2年	1740 単位時間 (又は単位)	平成十五年文部科学省告示第十四号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	445 単位時間 (又は単位)	87 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1508 単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人	2 人	7 人	11 人	18 人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 5段階評価で、成績評価、出席評価、総合評価を各科目ごとに成績をだす	
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月15日			卒業・進級条件	年次ごとの授業時間数を900時間(30単位)とし、870時間(29単位)以上の履修と課題提出が卒業・進級認定の条件	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 連絡を必ず取り、欠席理由や状況を聞く			課外活動	■課外活動の種類 1ヶ月に一度、学校1km周辺のゴミ拾い ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率※10 % ■卒業者に占める就職者の割合※20% ■その他 (任意) (平成25年度卒業者に係る平成26年5月時点の情報)			主な資格・検定	洋裁技術検定 ファッションビジネス能力検定 ファッション販売能力検定 ファッション色彩能力検定 パターンキング 技術検定 色彩検定	

中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成 25 年 4 月 1 日在学者 1 名（平成 25 年 4 月入学者を含む） 平成 26 年 3 月 31 日在学者 1 名（平成 26 年 3 月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 日々の学生の様子に変化があった場合は、担任が声をかけ相談しやすい環境をつくっている。
ホームページ	URL: http://www.maronie.ac.jp/

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

企画実施力に関する実践的な授業を行うため、生徒の実習受け入れ実績がある企業および施設を選定している。また、実習の実施にあたり、生徒に対して指導者として担当する体制が可能な企業および施設を選定している。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 校長
長川 勝男	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長 新日本新事業支援機関協議会 シニア IM
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社
梶谷 武志	有限会社 エムズ 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役

（開催日時）

第1回 平成25年9月17日 16:00～17:00

第2回 平成26年2月15日 16:30～18:00

2. 主な実習・演習等

（実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針）

「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、調達物流、在庫管理、販売の一連の流れを、体系的に習得する」ということを教育課程編成の基本方針に基づき、企業と連携した実習をおこなっている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社フェリシモ
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社 M.C. Innovation
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社 バハラナ

3. 教員の研修等

（教員の研修等の基本方針）

日本のアパレル業界は、自前で生産から販売までを手掛け、消費者のニーズに合った商品を短期かつ低価格に供給するビジネスモデル（SPA）が成長を遂げている。その一方でブライダル産業や舞台衣装といった特殊な産業も人材ニーズが高く、企業も少なくない。そのため、企業に必要とされる人材も企画デザインから販売までの総合的な知識をもち、なお且つ手仕事でしか制作できない一点ものの衣装制作ができる人材の育成が必要となっている。これら状況を踏まえ、「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、刺繍や特殊技法を体系的に習得する」ということを基本方針として、企業との連携し、教育課程を編成する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 学校長
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役
大田口 宏	大雪法律事務所 弁護士
河井 俊幸	コンフォート税理士事務所 代表社員 税理士
長川 勝勇	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長
山口 俊介	有限会社 かほり堂 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションクリエイション学科クリエイティブキャリアコース) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			デザイン学	デザインとは何か。デザインの基本的な知識。 デザインに関わる、造形、素材、紡績について。	1 通	30	1	○		
○			服飾理論	ファッション産業から人々の生活全体にまで広がりを持つアパレルに関する分野や、これに携わる専門的な知識などを習得する。洋裁、用尺、用具、針と糸、接着芯についてなど。	2 通	15	0.5	○		
○			造形学	造形の歴史、造形の基本のラインを知る。抽象と具象について。音楽を聴いて創造力を高める。紙、粘土、木を使って立体構成を考え作る。	1 通	30	1	△		○
○			商品知識	アイテムの知識、素材、柄の知識、副資材の知識、サイズの知識を学ぶ。	1 前	9	0.3	△	○	
○			企画	新商品の開発から販売促進までかかるマーチャンダイザーの仕事の内容を把握しオリジナルブランドの企画提案。	2 通	22.5	0.75	△		○
○			色彩学	色名、色相環、色彩の感情効果、PCCS(日本色彩配色体系)、配色、多配色、混色。 パーソナルカラーの基礎、診断方法、マップ作成を学び、実践に生かせるテクニックを習得。	1 2 通	45	1.5	○	△	
○			服装史	背広のルーツ、18 世紀貴族服から 19 世紀市民服へ。西洋人と日本の服装。女子服の実用化、20 世紀後半。	1 通	15	0.5	○		
○			テキスタイル	商品の品質表示について。綿、麻、毛、獣毛、絹、合繊繊維、再生繊維、皮革、毛皮等の素材の種類と特徴。織物と編物の違い。三原組織。	1 2 通	30	1	○		△
○			生産管理	アパレル商品の生産現場について、資材・機械・原価・工程管理・品質管理・生産・加工・クレーム、納期計画についても理解し、より良い商品作りを目指す。	2 前	3	0.1	○		

○		就職指導	就職活動の心構え。説明会の参加方法とマナー。アポイントの取り方。自己分析の方法と実践。履歴書と自己 PR の書き方。手紙の書き方。面接練習。ポートフォリオの作り方と製作。	2 通	30	1	△	○	
○		特別講義	コレクション情報やファッションカラー講義など、映像と説明により、最新のトレンド情報とこれからの流行しそうな色を習得する機会となる。	1 2 通	30	1	○		
○		学校行事	ファッションやデザインに関わるようなテーマにそった美術館、展覧会、先輩達が勤務しているアパレル企業の展示会を見学しに行く。	2 通	120	4			○
○		アパレルデザイン	企画組立ての流れを知り、クライアントのブランドコンセプトとトレンド情報を理解し、オリジナルデザインを展開する。素材の特徴を生かしたデザイン技術の習得。	1 2 通	97.5	3.25	△		○
○		アパレル造形	イコリーティ・リピート・グラデーション・アシンメトリー・アンバランス・義対称・シュパミング等の観念を知りデザインに取り入れる。	1 通	30	1	○		
○		商品リサーチ	商品アイテムのリサーチをし、商品のディテールや、縫製方法、デザインスケッチなど商品作りにかかせない要素を見るのがポイント。洗濯表示、素材表示を確認し、市場のトレンド傾向も学ぶ。	1 通	60	2	△		○
○		イラスト	基本のボディー演習からポージングまでのボディーを描けるようにする。さらに、繊細な素材表現、ディテール表現のテクニック、様々な画材道具を使つてのテクニックを習得する。	1 2 通	90	3	△		○
○		ニット	ニットの基礎知識。家庭機から工業機の編み機の基礎知識を習得する。また、デザインイメージをニット製品に表現する能力を高める。	2 通	7.5	0.25	△		○
○		パターン・ドレーピング	人体を知り、着心地の良い企業で対応できるパターン作成方法を習得。ドレーピングは立体裁断の基礎からジャケットまでの身体の動きを考えた立体的な服作りを習得する。	1 2 通	240	8	△		○
○		フラットパターン	平面製図。スカート、ブラウス、ジャケット、ビズチェ、変わり袖などを4分の1縮尺で製図する。それを原寸でひく事もある。	1 2 通	109.5	3.65	△	○	
○		縫製講義	生地によっての特性を知り、その注意すべき縫製方法を習得する。	1 前	3	0.1	○		

○		部分縫い	ポケットの種類、袖口の明きの種類など、部分的な縫製練習をする。	1 2 通	102	3.4			○
○		プロダクト縫製	市場向け用の製品作りのための縫製方法。パターンに一定の縫い代を付け、それと同様に生地を裁断した物を、縫い代の端をたよりに縫製する。	2 通	18	0.6	△		○
○		アパレルテクニック	工場内での完成品の流れを捉え、材料・部品・加工法と工程経路などを分析し、縫製仕様書を作成する。	2 通	15	0.5	△		○
○		ミシン講習	ミシンの使用方法、ミシン針の種類について学ぶ。工業用ミシン、4本ロックミシン、特殊ミシン(釦ホール機、はと目機械)などは、実践してみる。特殊素材について縫い方のアドバイスも習得。	1 2 前	9	0.3	△		○
	○	手芸	刺繍、レースの作り方、かぎ針基本テクニックを学び、素材作りに生かす。	1 2 通	45	1.5	△		○
○		IT(デザイン)	フォトショップ、イラストレーター、アルファギアの操作方法を習得。アルファギアを使用して連続柄を作成する。イラストレーターを使用して企画ブックの作成をする。	1 2 通	52.5	1.75	△		○
○		パターン検定対策	パターン検定3級、2級の筆記、実技試験対策をする。時間内にパターン、トワル組をする事で作業の速さを身につける。	～ 前	45	1.5	△		○
○		VMD	ディスプレイの基礎知識とその重要性を把握する。	～ 前	7.5	0.25	○		△
○		品質管理・クレーム	素材学で長所と短所の知識を学び、ロールプレイングをしてクレームのお客様への対応を学ぶ。	2 前	4.5	0.15	○		△
○		IT(ビジネス)	マイクロソフトOfficeの文章作成・表計算の修得。他、ビジネス上に必要なメール・インターネット関連とプレゼンテーション方法を習得。	2 通	30	1	△		○
○		Fビジネス検定対策	ファッションビジネス能力検定3級対策。理解しにくいと思われるところを解説し、問題を解く。	2 後	15	0.5	△	○	
○		制作実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	1 2 通	222	7.4	△		○

○			プロダクト縫製実習	スカート、ブラウス、パンツ、ジャケットを縫製する。	1 2 通	127.5	4.25			○
○			学園祭実習	文化祭に向けて、ファッションショーの衣装を製作したり、展示物の製作をする。	1 2 前	75	2.5			○
○			卒業展製作実習	卒業ファッションショーの衣装製作。自分でデザイン画を描き、そのパターンをひき縫製をする。時には、素材作り、生地を染めたりもする。	2 後	150	5			○
○			自由研究実習	休暇中に自分でテーマをみつけ、そのテーマにそった作品等を制作する。例えば、ITを使って企画書から考え、それを実際に服にしていくなど。	1 2 通	120	4			○
合計				36 科目	2040 単位時間(68 単位)					

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
マロニエファッションデザイン専門学校	昭和51年4月1日	若杉 豊	〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 マロニエ文化学園	昭和26年3月1日	理事長 野中 翠	〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222			
目 的	本校は教育基本法及び学校基本法の趣旨に基づき、ファッションの専門的技術を楽しむ為アパレル産業を中心とし、すぐれた技術と教養を持った人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時間又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	服飾専門 課程	ファッションビジネス学科 スタイルリストコース	3 年	2610単位時間 (又は単位)	平成七年文部科学省 告示第七号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	589 単位時間 (又は単位)	115 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1996 単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人	26 人	7 人	11 人	18 人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 5段階評価で、成績評価、出席評価、総合評価を各科目ごとに成績をだす	
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月15日			卒業・進級条件	年次ごとの授業時間数を900時間 (30単位)とし、870時間(29単位) 以上の履修と課題提出が卒業・進級 認定の条件	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 連絡を必ず取り、欠席理由や状況を聞く			課外活動	■課外活動の種類 1ヶ月に一度、学校1km周辺のゴミ拾い ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率※1 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 100% ■その他 (任意) (平成25年度卒業者にに関する平成26年5月時点の 情報)			主な資格・検定	洋裁技術検定 ファッションビジネス能力検定 ファッション販売能力検定 ファッション色彩能 力検定 パターンメイキング技術検定 色彩検 定	

中途退学の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成 25 年 4 月 1 日在学者 21 名（平成 25 年 4 月入学者を含む） 平成 26 年 3 月 31 日在学者 21 名（平成 26 年 3 月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 ■中退防止のための取組 日々の学生の様子に変化があった場合は、担任が声をかけ相談しやすい環境をつくっている。
ホームページ	URL: http://www.maronie.ac.jp/

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

企画実施力に関する実践的な授業を行うため、生徒の実習受け入れ実績がある企業および施設を選定している。また、実習の実施にあたり、生徒に対して指導者として担当する体制が可能な企業および施設を選定している。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 校長
長川 勝男	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長 新日本新事業支援機関協議会 シニア IM
徳永 剛	株式会社 FASCINATE 代表取締役
戸田 哲也	株式会社ネクストダッシュ 演出家
芝野 祐美子	ACT EDGE エンターテイメント株式会社 スタイリスト
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役

（開催日時）

第1回 平成25年9月16日 13:00～14:00

第2回 平成26年2月14日 13:00～14:30

2. 主な実習・演習等

（実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針）

「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、調達物流、在庫管理、販売の一連の流れを、体系的に習得する」ということを教育課程編成の基本方針に基づき、企業と連携した実習をおこなっている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社フェリシモ
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	株式会社 バハラナ

3. 教員の研修等

（教員の研修等の基本方針）

日本のアパレル業界は、自前で生産から販売までを手掛け、消費者のニーズに合った商品を短期かつ低価格に供給するビジネスモデル（SPA）が成長を遂げている。その一方でブライダル産業や舞台衣装といった特殊な産業も人材ニーズが高く、企業も少なくない。そのため、企業に必要とされる人材も企画デザインから販売までの総合的な知識をもち、なお且つ手仕事でしか制作できない一点ものの衣装制作ができる人材の育成が必要となっている。これら状況を踏まえ、「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、刺繍や特殊技法を体系的に習得する」ということを基本方針として、企業との連携し、教育課程を編成する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 学校長
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役
大田口 宏	大雪法律事務所 弁護士
河井 俊幸	コンフォート税理士事務所 代表社員 税理士
長川 勝勇	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長
山口 俊介	有限会社 かほり堂 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションビジネス学科スタイリストコース) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			デザイン学	デザインとは何か。デザインの基本的な知識。デザインに関わる、造形、素材、紡績について。	1 2 通	60	2	○		
○			服飾理論	ファッション産業から人々の生活全体にまで広がりを持つアパレルに関する分野や、これに携わる専門的な知識などを習得する。洋裁、用尺、用具、針と糸、接着芯についてなど。	1 前	9	0.3	○		
○			造形学	造形の歴史、造形の基本のラインを知る。抽象と具象について。音楽を聴いて創造力を高める。紙、粘土、木を使って立体構成を考え作る。	1 通	30	1	△		○
○			商品知識	アイテムの知識、素材、柄の知識、副資材の知識、サイズの知識を学ぶ。	1 前	15	0.5	△	○	
○			色彩学	色名、色相環、色彩の感情効果、PCCS(日本色彩配色体系)、配色、多配色、混色。パーソナルカラーの基礎、診断方法、マップ作成を学び、実践に生かせるテクニックを習得。	1 2 3 通	75	2.5	○	△	
○			服装史	背広のルーツ、18 世紀貴族服から 19 世紀市民服へ。西洋人と日本の服装。女子服の実用化、20 世紀後半。	1 通	15	0.5	○		
○			テキスタイル	商品の品質表示について。綿、麻、毛、獣毛、絹、合繊繊維、再生繊維、皮革、毛皮等の素材の種類と特徴。織物と編物の違い。三原組織。	1 2 通	30	1	○		△
○			生産管理 A	アパレル商品の生産現場について、資材・機械・原価・工程管理・品質管理・生産・加工・クレーム、納期計画についても理解し、より良い商品作りを目指す。	3 通	25.5	0.85	○		
○			英会話	基礎英会話力を身に付け、ファッション用語を取り入れながら様々なシチュエーションを設定し英語で会話することを試みる。	1 通	22.5	0.75	○		

○		心理学	衣服の色や形、メイクなど、自己を表現する様々なファッションアイテムとそれらの心理的影響を考察し、生活場面での活用を通じて、自身の心の受容と人々の豊かな心をつくる方法を学ぶ。	3 通	30	1	○		
○		就職指導	就職活動の心構え。説明会の参加方法とマナー。アポイントの取り方。自己分析の方法と実践。履歴書と自己 PR の書き方。手紙の書き方。面接練習。ポートフォリオの作り方と製作。	1 2 3 通	45	1.5	△	○	
○		特別講義	コレクション情報やファッションカラー講義など、映像と説明により、最新のトレンド情報とこれからの流行しそうな色を習得する機会となる。	1 2 3 通	45	1.5	○		
○		学校行事	ファッションやデザインに関わるようなテーマにそった美術館、展覧会、先輩達が勤務しているアパレル企業の展示会を見学しに行く。	1 2 3 通	180	6			○
○		アパレル造形	イコリティ・リピート・グラデーション・アシンメトリー・アンバランス・義対称・シュパミング等の観念を知りデザインに取り入れる。	2 通	30	1	△		○
○		商品リサーチ	商品アイテムのリサーチをし、商品のディテールや、縫製方法、デザインスケッチなど商品作りにかかせない要素を見るのがポイント。洗濯表示、素材表示を確認し、市場のトレンド傾向も学ぶ。	2 通	30	1	○		
○		イラスト	基本のボディー演習からポージングまでのボディーを描けるようにする。さらに、繊細な素材表現、ディテール表現のテクニック、様々な画材道具を使つてのテクニックを習得する。	1 2 3 通	210	7	△		○
○		ニット	ニットの基礎知識。家庭機から工業機の編み機の基礎知識を習得する。また、デザインイメージをニット製品に表現する能力を高める。	2 前	30	0.1	△		○
○		フラットパターン	平面製図。スカート、ブラウス、ジャケット、ビズチェ、変わり袖などを4分の1縮尺で製図する。それを原寸でひく事もある。	1 通	60	2	△	○	
○		部分縫い	ポケットの種類、袖口の明きの種類など、部分的な縫製練習をする。	1 通	90	3			○
○		ミシン講習	ミシンの使用方法、ミシン針の種類について学ぶ。工業用ミシン、4本ロックミシン、特殊ミシン(釦ホール機、はと目機械)などは、実践してみる。特殊素材について縫い方のアドバイスも習得。	1 前	6	0.2	△		○

○			生産管理B	アパレル商品の生産現場について、発注と原価の詳細設計、国内海外の生産ラインの管理を理解し、高品質の商品作りを目指す。	3 前	4.5	0.15	○		
○			販売学	お客様の顔型や体型を診断し、個人に合ったカラー・デザイン・シルエットなど、トータルコーディネートができる販売員を目指す。	2 通	27	0.9	△		○
○			ロールプレイング	接客を通じてお客様に対し、どのようにアプローチをして商品説明し、商品に魅力を感じてもらいながら購入につなげるかの接客技術を習得する。	1 後	3	0.1			○
○			VMD	ディスプレイの基礎知識とその重要性を把握する。	2 3 通	37.5	1.25	○		△
○			VD	ブランドコンセプトを理解し、ショップの販売促進に必要な DM・POP・ネームタグなどのツールをデザインする。	3 前	1.5	0.05	○		△
○			ディスプレイ	商品をレイアウトするディスプレイや様々な場面・テーマを設定し目的や空間を考えディスプレイすることで演出の仕方や的確なテクニックを身に付ける。	1 2 3 通	42	1.4			○
○			ピンワーク	ディスプレイ技法の一つである、店舗什器やボディに対して一枚ものの生地で作成する技術を習得する。	1 後	7.5	0.25			○
○			店舗リサーチ	売場レイアウトや商品の品揃え・接客対応など、実際の店舗を対象に市場調査を実施して分析する。	2 3 通	120	4	△		○
○			ショップデザイン	マーチャンダイザーとして店舗企画する上での基礎知識や縮尺図を習得し、実際に構想したオリジナルブランドのショップのミニチュア模型作成までを行う。	3 前	3	0.1	△		○
○			アドバタイジング	広告媒体を中心としてイベント（ショー）の企画・立案からプレゼンテーションの演習まで行う。	2 3 通	114	3.8	△		○
○			イベント企画	ショー・イベントが出来上がるまでの基本的なプロセスを各自が構想した企画について検証し、プレゼンテーション演習まで行う。	3 前	3	0.1	△		○
○			パッケージ	商品購入時に包むラッピングの基礎技術から、様々な贈り物に対するアレンジ手法を習得する。	1 通	22.5	0.75	○		△

○		品質管理・クレーム	素材学で長所と短所の知識を学び、ロールプレイングをしてクレームのお客様への対応を学ぶ。	2通	30	1	○		△
○		パーソナルスタイリング	個人に合ったカラー・デザイン・シルエットを分析し、トータルコーディネート提案できる知識と手法を習得する。	2通	60	2	○		△
○		スタイリングマップ	コンセプトテーマに対して、衣服とファッション雑貨を複合的に組み合わせたコーディネート提案をイメージマップで表現する。	2通	22.5	0.75	△		○
○		フォーマル・帽子	様々なフォーマルシーンにおける、帽子の種類を学び、帽子の脱着に関してのマナーも習得する。	2前	1.5	0.05	○		
○		アクセサリ	様々なコーディネートに対してアクセントとなる装飾品の種類と取扱いに関して学ぶ。	2前	1.5	0.05	○		
○		ヘア・メイク・ネイル	ヘアとメイクとネイルのトータルコーディネート力や提案力、知識などを習得する授業。	23前	240	8	△		○
○		IT(ビジネス)	動画編集やオリジナルショップのイメージ映像の設定で各自が計画した表現したいイメージ映像のオリジナル作品の作成し、操作技術と表現力をつける。	123通	105	3.5	△		○
○		ビジネス用語	服飾用語、人物、現在までの全てのファッションスタイル、シルエット、アイテムの特徴、ディテール説明、トレンドの概要を理解する。	1通	30	1	△	○	
○		F ビジネス検定対策	ファッションビジネス能力検定3級対策。理解しにくいと思われるところを解説し、問題を解く。	12後	85.5	2.85	△		○
○		制作実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	12通	327	10.9	△		○
○		学園祭実習	文化祭に向けて、ファッションショーの衣装を製作したり、展示物の製作をする。	123前	105	3.5			○
○		卒業展製作実習	卒業ファッションショーの衣装製作。自分でデザイン画を描き、そのパターンをひき縫製をする。時には、素材作り、生地を染めたりもする。	3後	115.5	3.85			○

○		自由研究実習	休暇中に自分でテーマをみつけ、そのテーマにそった作品等を制作する。例えば、ITを使って企画書から考え、それを実際に服にしていくなど。	1 2 3 通	180	6		○
合計			45 科目	2700 単位時間(90 単位)				

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
マロニエファッションデザイン専門学校	昭和51年4月1日	若杉 豊	〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 マロニエ文化学園	昭和26年3月1日	理事長 野中 翠	〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222			
目 的	本校は教育基本法及び学校基本法の趣旨に基づき、ファッションの専門的技術を楽しむ為アパレル産業を中心とし、すぐれた技術と教養を持った人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
服飾家政	服飾専門課程	ファッションビジネス学科 ビジネスプランニングコース	3年	2610 単位時間 (又は単位)	平成七年文部科学省 告示第七号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	589 単位時間 (又は単位)	115 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1996 単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30 人	17 人	7 人	11 人	18 人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 5段階評価で、成績評価、出席評価、総合評価を各科目ごとに成績をだす	
長期休み	■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月15日			卒業・進級条件	年次ごとの授業時間数を900時間(30単位)とし、870時間(29単位)以上の履修と課題提出が卒業・進級認定の条件	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 連絡を必ず取り、欠席理由や状況を聞く			課外活動	■課外活動の種類 1ヶ月に一度、学校1km周辺のゴミ拾い ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率※10 % ■卒業者に占める就職者の割合※20% ■その他 (任意) (平成25年度卒業者にに関する平成26年5月時点の情報)			主な資格・検定	洋裁技術検定 ファッションビジネス能力検定 ファッション販売能力検定 ファッション色彩能力検定 パターンキング 技術検定 色彩検定	

中途退学の現状	■中途退学者 2 名 ■中退率 25 % 平成 25 年 4 月 1 日在学者 8 名（平成 25 年 4 月入学者を含む） 平成 26 年 3 月 31 日在学者 6 名（平成 26 年 3 月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、または家庭の事情によるため。 ■中退防止のための取組 日々の学生の様子に変化があった場合は、担任が声をかけ相談しやすい環境をつくっている。
ホームページ	URL: http://www.maronie.ac.jp/

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

企画実施力に関する実践的な授業を行うため、生徒の実習受け入れ実績がある企業および施設を選定している。また、実習の実施にあたり、生徒に対して指導者として担当する体制が可能な企業および施設を選定している。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 校長
長川 勝男	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長 新日本新事業支援機関協議会 シニア IM
株式会社 HIT	プランニングチーフディレクター
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役

（開催日時）

第1回 平成25年9月16日 14:00～15:00

第2回 平成26年2月14日 14:30～16:00

2. 主な実習・演習等

（実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針）

「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、調達物流、在庫管理、販売の一連の流れを、体系的に習得する」ということを教育課程編成の基本方針に基づき、企業と連携した実習をおこなっている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	オーミケンシ株式会社
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	グローリア株式会社
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	フェリシモ株式会社

3. 教員の研修等

（教員の研修等の基本方針）

日本のアパレル業界は、自前で生産から販売までを手掛け、消費者のニーズに合った商品を短期かつ低価格に供給するビジネスモデル（SPA）が成長を遂げている。その一方でブライダル産業や舞台衣装といった特殊な産業も人材ニーズが高く、企業も少なくない。そのため、企業に必要とされる人材も企画デザインから販売までの総合的な知識をもち、なお且つ手仕事でしか制作できない一点ものの衣装制作ができる人材の育成が必要となっている。これら状況を踏まえ、「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、刺繍や特殊技法を体系的に習得する」ということを基本方針として、企業との連携し、教育課程を編成する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 学校長
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役
大田口 宏	大雪法律事務所 弁護士
河井 俊幸	コンフォート税理士事務所 代表社員 税理士
長川 勝勇	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長
山口 俊介	有限会社 かほり堂 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

授業科目等の概要

服飾専門課程ファッションビジネス学科ビジネスプランニングコース) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			デザイン学	デザインとは何か。デザインの基本的な知識。デザインに関わる、造形、素材、紡績について。	1 2 通	40	2	○		
○			服飾理論	ファッション産業から人々の生活全体にまで広がりを持つアパレルに関する分野や、これに携わる専門的な知識などを習得する。洋裁、用尺、用具、針と糸、接着芯についてなど。	1 前	9	0.3	○		
○			造形学	造形の歴史、造形の基本のラインを知る。抽象と具象について。音楽を聴いて創造力を高める。紙、粘土、木を使って立体構成を考え作る。	1 通	30	1	△		○
○			商品知識	アイテムの知識、素材、柄の知識、副資材の知識、サイズの知識を学ぶ。	1 前	15	0.5	△	○	
○			色彩学	色名、色相環、色彩の感情効果、PCCS(日本色彩配色体系)、配色、多配色、混色。パーソナルカラーの基礎、診断方法、マップ作成を学び、実践に生かせるテクニックを習得。	1 2 3 通	75	2.5	○	△	
○			服装史	背広のルーツ、18 世紀貴族服から 19 世紀市民服へ。西洋人と日本の服装。女子服の実用化、20 世紀後半。	1 通	15	0.5	○		
○			テキスタイル	商品の品質表示について。綿、麻、毛、獣毛、絹、合繊繊維、再生繊維、皮革、毛皮等の素材の種類と特徴。織物と編物の違い。三原組織。	1 2 通	30	1	○		△
○			生産管理 A	アパレル商品の生産現場について、資材・機械・原価・工程管理・品質管理・生産・加工・クレーム、納期計画についても理解し、より良い商品作りを目指す。	3 通	25.5	0.85	○		
○			英会話	基礎英会話力を身に付け、ファッション用語を取り入れながら様々なシチュエーションを設定し英語で会話することを試みる。	1 通	22.5	0.75	○		

○		心理学	衣服の色や形、メイクなど、自己を表現する様々なファッションアイテムとそれらの心理的影響を考察し、生活場面での活用を通じて、自身の心の受容と人々の豊かな心をつくる方法を学ぶ。	3 通	30	1	○		
○		就職指導	就職活動の心構え。説明会の参加方法とマナー。アポイントの取り方。自己分析の方法と実践。履歴書と自己 PR の書き方。手紙の書き方。面接練習。ポートフォリオの作り方と製作。	1 2 3 通	45	1.5	△	○	
○		特別講義	コレクション情報やファッションカラー講義など、映像と説明により、最新のトレンド情報とこれからの流行しそうな色を習得する機会となる。	1 2 3 通	45	1.5	○		
○		学校行事	ファッションやデザインに関わるようなテーマにそった美術館、展覧会、先輩達が勤務しているアパレル企業の展示会を見学しに行く。	1 2 3 通	180	6			○
○		アパレル造形	イコリティ・リピート・グラデーション・アシンメトリー・アンバランス・義対称・シュパミング等の観念を知りデザインに取り入れる。	2 通	30	1	△		○
○		商品リサーチ	商品アイテムのリサーチをし、商品のディテールや、縫製方法、デザインスケッチなど商品作りにかかせない要素を見るのがポイント。洗濯表示、素材表示を確認し、市場のトレンド傾向も学ぶ。	2 通	30	1	○		
○		イラスト	基本のボディー演習からポージングまでのボディーを描けるようにする。さらに、繊細な素材表現、ディテール表現のテクニック、様々な画材道具を使つてのテクニックを習得する。	1 2 3 通	210	7	△		○
○		ニット	ニットの基礎知識。家庭機から工業機の編み機の基礎知識を習得する。また、デザインイメージをニット製品に表現する能力を高める。	2 前	3	0.1	△		○
○		フラットパターン	平面製図。スカート、ブラウス、ジャケット、ビズチェ、変わり袖などを4分の1縮尺で製図する。それを原寸でひく事もある。	1 通	60	2	△	○	
○		部分縫い	ポケットの種類、袖口の明きの種類など、部分的な縫製練習をする。	1 通	90	3			○
○		ミシン講習	ミシンの使用方法、ミシン針の種類について学ぶ。工業用ミシン、4本ロックミシン、特殊ミシン(釦ホール機、はと目機械)などは、実践してみる。特殊素材について縫い方のアドバイスも習得。	1 前	6	0.2	△		○

○			生産管理B	アパレル商品の生産現場について、発注と原価の詳細設計、国内海外の生産ラインの管理を理解し、高品質の商品作りを目指す。	3 前	4.5	0.15	○		
○			販売学	お客様の顔型や体型を診断し、個人に合ったカラー・デザイン・シルエットなど、トータルコーディネートができる販売員を目指す。	2 通	27	0.9	△		○
○			ロールプレイング	接客を通じてお客様に対し、どのようにアプローチをして商品説明し、商品に魅力を感じてもらいながら購入につなげるかの接客技術を習得する。	1 後	3	0.1			○
○			MD	店舗に対しての商品品揃え計画、売場レイアウト・ディスプレイ計画も含めたマネジメントを理解し、プレゼンテーション能力を身につける。	2 3 通	159	5.9	○		△
○			VMD	ディスプレイの基礎知識とその重要性を把握する。	2 3 通	79.5	2.65	○		△
○			VD	ブランドコンセプトを理解し、ショップの販売促進に必要な DM・POP・ネームタグなどのツールをデザインする。	2 3 通	39	1.3	○		△
○			ディスプレイ	商品をレイアウトするディスプレイや様々な場面・テーマを設定し目的や空間を考えディスプレイすることで演出の仕方や的確なテクニックを身に付ける。	1 2 3 通	42	1.4			○
○			ピンワーク	ディスプレイ技法の一つである、店舗什器やボディに対して一枚ものの生地で作成する技術を習得する。	1 後	7.5	0.25			○
○			店舗リサーチ	売場レイアウトや商品の品揃え・接客対応など、実際の店舗を対象に市場調査を実施して分析する。	2 3 通	120	4	△		○
○			ショップデザイン	マーチャンダイザーとして店舗企画する上での基礎知識や縮尺図を習得し、実際に構想したオリジナルブランドのショップのミニチュア模型作成までを行う。	3 前	3	0.1	△		○
○			アドバタイジング	広告媒体を中心としてイベント（ショー）の企画・立案からプレゼンテーションの演習まで行う。	2 3 通	114	3.8	△		○
○			イベント企画	ショー・イベントが出来上がるまでの基本的なプロセスを各自が構想した企画について検証し、プレバックション演習まで行う。	3 前	3	0.1	△		○

○		コピーライティング	商品を際立たせるための広告宣伝の文章の作成と、それを考察する技術を習得する。	2 3 前	37.5	1.25	○		△
○		パッケージ	商品購入時に包むラッピングの基礎技術から、様々な贈り物に対するアレンジ手法を習得する。	1 通	22.5	0.75	○		△
○		品質管理・クレーム	素材学で長所と短所の知識を学び、ロールプレイングをしてクレームのお客様への対応を学ぶ。	2 通	30	1	○		△
○		パーソナルスタイリング	個人に合ったカラー・デザイン・シルエットを分析し、トータルコーディネートを提案できる知識と手法を習得する。	2 通	60	2	○		△
○		フォーマル・帽子	様々なフォーマルシーンにおける、帽子の種類を学び、帽子の脱着に関するマナーも習得する。	2 前	1.5	0.05	○		
○		アクセサリ	様々なコーディネートに対してアクセントとなる装飾品の種類と取扱いに関して学ぶ。	2 前	1.5	0.05	○		
○		IT(ビジネス)	動画編集やオリジナルショップのイメージ映像の設定で各自が計画した表現したいイメージ映像のオリジナル作品の作成し、操作技術と表現力をつける。	1 2 3 通	100.5	3.35	△		○
○		ビジネス用語	服飾用語、人物、現在までの全てのファッションスタイル、シルエット、アイテムの特徴、ディテール説明、トレンドの概要を理解する。	1 通	30	1	△	○	
○		Fビジネス検定対策	ファッションビジネス能力検定3級対策。理解しにくいと思われるところを解説し、問題を解く。	1 2 3 後	115.5	3.85	△		○
○		制作実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	1 2 3 通	288	9.6	△		○
○		学園祭実習	文化祭に向けて、ファッションショーの衣装を製作したり、展示物の製作をする。	1 2 3 前	105	3.5			○
○		卒業展製作実習	卒業ファッションショーの衣装製作。自分でデザイン画を描き、そのパターンをひき縫製をする。時には、素材作り、生地を染めたりもする。	3 後	115.5	3.85			○

○		自由研究実習	休暇中に自分でテーマをみつけ、そのテーマにそった作品等を制作する。例えば、ITを使って企画書から考え、それを実際に服にしていくなど。	1 2 3 通	180	6		○
合計			科目	単位時間 (単位)				

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日		校 長 名		所 在 地	
マロニエファッションデザイン専門学校		昭和51年4月1日		若杉 豊		〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222	
設 置 者 名		設立認可年月日		代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 マロニエ文化学園		昭和26年3月1日		理事長 野中 翠		〒531-0041 大阪府大阪市北区天神橋7丁目7-4 (電話) 06-6358-0222	
目的		本校は教育基本法及び学校基本法の趣旨に基づき、ファッションの専門的技術を楽しむ為アパレル産業を中心とし、すぐれた技術と教養を持った人材を育成することを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与	
服飾家政	服飾専門課程	ファッションビジネス学科ファッションアドバイザーコース	2年	1740 単位時間 (又は単位)	平成七年文部科学省告示第七号	-	
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技	
		392 単位時間 (又は単位)	78 単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1330 単位時間 (又は単位)	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	
40 人		8 人		7 人		11 人	
学期制度		■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価		■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 5段階評価で、成績評価、出席評価、総合評価を各科目ごとに成績をだす	
長期休み		■学年始め：4月8日 ■夏 季：7月22日～8月31日 ■冬 季：12月23日～1月10日 ■学 年 末：3月15日		卒業・進級条件		年次ごとの授業時間数を900時間(30単位)とし、870時間(29単位)以上の履修と課題提出が卒業・進級認定の条件	
生徒指導		■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 連絡を必ず取り、欠席理由や状況を聞く		課外活動		■課外活動の種類 1ヶ月に一度、学校1km周辺のゴミ拾い ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況		■主な就職先、業界等 ■就職率※ ¹ 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※ ² 100% ■その他 (任意) (平成25年度卒業者にに関する平成26年5月時点の情報)		主な資格・検定		洋裁技術検定 ファッションビジネス能力検定 ファッション販売能力検定 ファッション色彩能力検定 パターンキング技術検定 色彩検定	

中途退学の現状	■中途退学者 1 名 ■中退率 16 % 平成 25 年 4 月 1 日在学者 6 名（平成 25 年 4 月入学者を含む） 平成 26 年 3 月 31 日在学者 5 名（平成 26 年 3 月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、または家庭の事情によるため。 ■中退防止のための取組 日々の学生の様子に変化があった場合は、担任が声をかけ相談しやすい環境をつくっている。
ホームページ	URL: http://www.maronie.ac.jp/

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

（教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針）

企画実施力に関する実践的な授業を行うため、生徒の実習受け入れ実績がある企業および施設を選定している。また、実習の実施にあたり、生徒に対して指導者として担当する体制が可能な企業および施設を選定している。

（教育課程編成委員会等の全委員の名簿）

平成26年10月5日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 校長
長川 勝男	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長 新日本新事業支援機関協議会 シニア IM
徳永 剛	株式会社 FASCINATE 代表取締役
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役

（開催日時）

第1回 平成25年9月16日 16:00～17:00

第2回 平成26年2月14日 16:30～18:00

2. 主な実習・演習等

（実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針）

「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、調達物流、在庫管理、販売の一連の流れを、体系的に習得する」ということを教育課程編成の基本方針に基づき、企業と連携した実習をおこなっている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	オーミケンシ株式会社
制作策実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	グローリア株式会社

3. 教員の研修等

（教員の研修等の基本方針）

日本のアパレル業界は、自らで生産から販売までを手掛け、消費者のニーズに合った商品を短期かつ低価格に供給するビジネスモデル（SPA）が成長を遂げている。その一方でブライダル産業や舞台衣装といった特殊な産業も人材ニーズが高く、企業も少なくない。そのため、企業に必要とされる人材も企画デザインから販売までの総合的な知識をもち、なお且つ手仕事でしか制作できない一点ものの衣装制作ができる人材の育成が必要となっている。これら状況を踏まえ、「企業に役立つ人材育成のために、企画デザイン、生産、刺繍や特殊技法を体系的に習得する」ということを基本方針として、企業との連携し、教育課程を編成する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 26 年 10 月 5 日現在

名 前	所 属
若杉 豊	マロニエファッションデザイン専門学校 学校長
伊藤 隆	プラチナ産業株式会社 代表取締役
稲田 大	株式会社 U.W.C 代表取締役
大田口 宏	大雪法律事務所 弁護士
河井 俊幸	コンフォート税理士事務所 代表社員 税理士
長川 勝勇	一般社団法人 インターナショナルアーティスト支援協会 理事長
山口 俊介	有限会社 かほり堂 代表取締役

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.maronie.ac.jp/about_maro/public_info/

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションビジネス学科ファッションアドバイザーコース) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講 義	演 習	実験・実習・実技
○			デザイン学	デザインとは何か。デザインの基本的な知識。 デザインに関わる、造形、素材、紡績について。	1 2 通	60	2	○		
○			服飾理論	ファッション産業から人々の生活全体にまで広がりを持つアパレルに関する分野や、これに携わる専門的な知識などを習得する。洋裁、用尺、用具、針と糸、接着芯についてなど。	1 前	9	0.3	○		
○			造形学	造形の歴史、造形の基本のラインを知る。抽象と具象について。音楽を聴いて創造力を高める。紙、粘土、木を使って立体構成を考え作る。	1 通	30	1	△		○
○			商品知識	アイテムの知識、素材、柄の知識、副資材の知識、サイズの知識を学ぶ。	1 前	15	0.5	△	○	
○			色彩学	色名、色相環、色彩の感情効果、PCCS(日本色彩配色体系)、配色、多配色、混色。パーソナルカラーの基礎、診断方法、マップ作成を学び、実践に生かせるテクニックを習得。	1 2 通	45	1.5	○	△	
○			服装史	背広のルーツ、18 世紀貴族服から 19 世紀市民服へ。西洋人と日本の服装。女子服の実用化、20 世紀後半。	1 通	15	0.5	○		
○			テキスタイル	商品の品質表示について。綿、麻、毛、獣毛、絹、合繊繊維、再生繊維、皮革、毛皮等の素材の種類と特徴。織物と編物の違い。三原組織。	1 2 通	30	1	○		△
○			英会話	基礎英会話力を身に付け、ファッション用語を取り入れながら様々なシチュエーションを設定し英語で会話することを試みる。	1 通	22.5	0.75	○		
○			就職指導	就職活動の心構え。説明会の参加方法とマナー。アポイントの取り方。自己分析の方法と実践。履歴書と自己 PR の書き方。手紙の書き方。面接練習。ポートフォリオの作り方と製作。	2 通	36	1.2	△	○	

○			特別講義	コレクション情報やファッションカラー講義など、映像と説明により、最新のトレンド情報とこれからの流行しそうな色を習得する機会となる。	1 2 通	30	1	○		
○			学校行事	ファッションやデザインに関わるようなテーマにそった美術館、展覧会、先輩達が勤務しているアパレル企業の展示会を見学しに行く。	1 2 通	120	4			○
○			商品リサーチ	商品アイテムのリサーチをし、商品のディテールや、縫製方法、デザインスケッチなど商品作りにかかせない要素を見るのがポイント。洗濯表示、素材表示を確認し、市場のトレンド傾向も学ぶ。	1 通	60	2	○		
○			イラスト	基本のボディー演習からポージングまでのボディーを描けるようにする。さらに、繊細な素材表現、ディテール表現のテクニック、様々な画材道具を使つてのテクニックを習得する。	1 2 通	150	5	△		○
○			ニット	ニットの基礎知識。家庭機から工業機の編み機の基礎知識を習得する。また、デザインイメージをニット製品に表現する能力を高める。	2 前	3	0.1	△		○
○			フラットパターン	平面製図。スカート、ブラウス、ジャケット、ビズチェ、変わり袖などを4分の1縮尺で製図する。それを原寸でひく事もある。	1 通	60	2	△	○	
○			部分縫い	ポケットの種類、袖口の明きの種類など、部分的な縫製練習をする。	1 通	90	3			○
○			ミシン講習	ミシンの使用方法、ミシン針の種類について学ぶ。工業用ミシン、4本ロックミシン、特殊ミシン(釦ホール機、はと目機械)などは、実践してみる。特殊素材について縫い方のアドバイスも習得。	1 前	6	0.2	△		○
○			販売学	お客様の顔型や体型を診断し、個人に合ったカラー・デザイン・シルエットなど、トータルコーディネートができる販売員を目指す。	2 通	27	0.9	△		○
○			ロールプレイング	接客を通じてお客様に対し、どのようにアプローチをして商品説明し、商品に魅力を感じてもらいながら購入につなげるかの接客技術を習得する。	1 後	3	0.1			○
○			MD	店舗に対しての商品品揃え計画、売場レイアウト・ディスプレイ計画も含めたマネージメントを理解し、プレゼンテーション能力を身につける。	2 通	40.5	1.35	○		△
○			VMD	ディスプレイの基礎知識とその重要性を把握する。	2 前	7.5	0.25	○		△

○			ディスプレイ	商品をレイアウトするディスプレイや様々な場面・テーマを設定し目的や空間を考えディスプレイすることで演出の仕方の確かなテクニックを身に付ける。	1 2 通	12	0.4			○
○			ピンワーク	ディスプレイ技法の一つである、店舗什器やボディに対して一枚ものの生地で演出を創作する技術を習得する。	1 後	7.5	0.25			○
○			店舗リサーチ	売場レイアウトや商品の品揃え・接客対応など、実際の店舗を対象に市場調査を実施して分析する。	2 通	60	2	△		○
○			アドバタイジング	広告媒体を中心としてイベント（ショー）の企画・立案からプレゼンテーションの演習まで行う。	2 通	87	2.9	△		○
○			パッケージ	商品購入時に包むラッピングの基礎技術から、様々な贈り物に対するアレンジ手法を習得する。	1 通	22.5	0.75	○		△
○			品質管理・クレーム	素材学で長所と短所の知識を学び、ロールプレイングをしてクレームのお客様への対応を学ぶ。	2 通	30	1	○		△
○			フォーマル・帽子	様々なフォーマルシーンにおける、帽子の種類を学び、帽子の脱着に関してのマナーも習得する。	2 前	1.5	0.05	○		
○			アクセサリ	様々なコーディネートに対してアクセントとなる装飾品の種類と取扱いに関して学ぶ。	1 前	1.5	0.05	○		
○			ヘア・メイク・ネイル	ヘアとメイクとネイルのトータルコーディネート力や提案力、知識などを習得する授業。	1 2 通	75	2.5	△		○
○			IT(ビジネス)	動画編集やオリジナルショップのイメージ映像の設定で各自が計画した表現したいイメージ映像のオリジナル作品の作成し、操作技術と表現力をつける。	1 2 通	75	2.5	△		○
○			ビジネス用語	服飾用語、人物、現在までの全てのファッションスタイル、シルエット、アイテムの特徴、ディテール説明、トレンドの概要を理解する。	1 通	30	1	△	○	
○			F ビジネス検定対策	ファッションビジネス能力検定3級対策。理解しにくいと思われるところを解説し、問題を解く。	1 後	15	0.5	△		○

○			制作実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	1 2 通	238.5	7.95	△		○
○			学園祭実習	文化祭に向けて、ファッションショーの衣装を製作したり、展示物の製作をする。	1 2 前	75	2.5			○
○			卒業展製作実習	卒業ファッションショーの衣装製作。自分でデザイン画を描き、そのパターンをひき縫製をする。時には、素材作り、生地を染めたりもする。	2 後	90	3			○
○			自由研究実習	休暇中に自分でテーマをみつけ、そのテーマにそった作品等を制作する。例えば、ITを使って企画書から考え、それを実際に服にしていくなど。	1 2 通	120	4			○
合計				37 科目	1800 単位時間(60 単位)					